

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

- (1) 練習は、サブトラックを使用すること。ただし、投てき種目の練習は禁止する。
フィールド競技の練習は、招集完了後に役員の指示により本競技場内で行う。
- (2) サブトラックの「レーン」の使用区分は、下記の通りとする。
 - ア) 周回1～3レーン：中・長距離、競歩
 - イ) 周回4～6レーン：短距離
 - ウ) 7～8レーン：(ホーム)100mH・110mH、(第1～第3コーナー)400mH

3 招集について

- (1) 招集所は、本競技場第2コーナー側バックスタンド下の雨天練習場に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順
 - ア) 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイク等の点検を受ける。なお、トラック種目の出場者は腰ナンバーカードを受け取る。
 - イ) 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届(招集所備え付け)を提出し、併せて招集に来ることが出来ない種目の点呼(ナンバーカード・スパイク等の点検)を受けておくこと。その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。
 - ウ) 招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権とみなし処理する。
- (4) 混成競技は、両日の第1種目及び2日目の最終種目については競技者係で点呼を受けること。それ以外は本競技場第4コーナー側メインスタンド下の混成競技者控室に待機し、トラック競技は開始時刻の10分前までに、フィールド競技は開始時刻の20分前までに、競技役員の誘導により競技場所に移動すること。
- (5) 欠場届について
事前に欠場する種目がある場合は、欠場届(プログラム巻末にとじ込み)を点呼までに競技者係に提出すること。

4 競技について

- (1) レーン、試技順はプログラム記載順とする。
- (2) スタートはイングリッシュコマンドで行い、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
(混成競技は、2回目以降に不正スタートをした競技者を失格とする。)
- (3) トラック競技における次のラウンドへの進出について
 - ア) (+ α)を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣を判定する。
 - レーンに余裕がある場合・・・同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。
 - レーンに余裕がない場合・・・本人または代理人により抽選する。
 - イ) 同着により着取りによる進出者が増えた場合は、+ α での進出者数を減らす。
- (4) 男子5000mWは、グループスタートで実施する。
- (5) 男女1500m及び男子3000mSCは、タイムレース決勝で実施する。
- (6) 男女10000m及び男女5000mWにおいて競技運営に支障を来すと判断された場合、途中で競技を打ち切ることがある。
- (7) 男女5000m、10000m、5000mW、混成競技の最終種目は別ナンバーカードを使用する。レース終了後にナンバーカード係に返却すること。
- (8) リレーオーダー用紙の提出について
 - ・提出場所：競技者係(招集所)
 - ・予選：第1組の招集完了時刻の2時間前～1時間前まで
 - ・決勝：変更の有無にかかわらず、招集完了時刻の1時間前～30分前まで
 - *リレーオーダー用紙はプログラム巻末または競技者係(招集所)備え付けの所定の用紙を使用すること。
- (9) 長距離種目及び競歩種目については、気象状況を考慮して給水を実施する。
- (10) フィールド競技については、計測ラインを設ける。
- (11) 三段跳の踏切板は、砂場から男子13m、女子9m・11mの地点に設置する。

(12) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。

ただし、気象状況により変更する場合がある。

走高跳	男子	練習 1m85	1m90-95-2m00-05-08	以後、優勝が決まるまで 3 cmずつ上げる
	女子	練習 1m55	1m60-65-70-73	
棒高跳	男子	練習 4m30・4m80	4m40-60-70-80	以後、優勝が決まるまで 10 cmずつ上げる
	女子	練習 3m00・3m50・4m00	3m20-40-50-60	

* 第1位が同成績の順位決定は、走高跳では2 cm、棒高跳では5 cmの上げ下げとする。

混成競技のバーの上げ方

走高跳	男子	1m70 までは5 cmきざみ 以降は3 cmきざみ	最初の高さが異なる 2グループで実施
	女子	1m50 までは5 cmきざみ 以降は3 cmきざみ	
棒高跳	男子	3m40 までは20 cmきざみ 以降10 cmきざみ	

5 競技用具について

- やり・棒高跳用ポール以外は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。練習用としても個人のもを競技場内へ持ち込むことはできない。
- やりは検査を受けて自己のやりを使用することができる。検査を希望する競技者は、下記の検査時刻にフィニッシュ側用器具庫へ持参し検査を受けること。ただし、この場合出場競技者全員で共用できるものとする。
 - 男子-1日目 10:40~11:00 女子-2日目 8:40~9:00
 - 混成競技
十種競技-2日目 15:00~15:30 七種競技-2日目 11:30~12:00
- 走高跳のマーカ―は、競技役員から受け取ったテープのみの使用とする。
- リレーのマーカ―は、主催者で準備し各コーナーの出発係で配布する。

6 抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、所定の手続きをとるものとする。

7 表彰について

- 各種目1位~3位の入賞者は表彰を行う。成績発表後直ちに受賞者席（競技場正面玄関1階ロビー）に集合すること。

8 その他

- 競技場の開門は、2日間とも7:30とする。
- テント・のぼり・横断幕・部旗等について
 - テントは、サイド・バックのスタンドおよびバックスタンド外側のプラットホーム（1段高くなった部分）のみ設置可能である。メインスタンドには設置しないこと。また、サイドスタンドでのシート敷きは禁止する。
 - バックスタンド外側のプラットホームにテントを設置する場合は、ロープなどで車両の通行の妨げにならないよう注意すること。その他、競技場の指示に従うこと。
 - 横断幕・部旗等は、バックスタンド中段手すり・最後部の手すりに設置すること。最前部のフェンスに設置しないこと。
 - のぼりはサイド・バックのスタンド最後部に設置すること。
 - テント・のぼり・横断幕・部旗等については、毎日撤去して持ち帰ること。
- 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援は自粛すること。
- 更衣は競技場にある男女の更衣室を使用すること。正面玄関からの出入りは禁止する。
- 競技中に発生した傷害・疾病については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- 競技結果及び次のラウンドへの出場資格は場内アナウンスによって発表する。また次ラウンドの組み合わせはメインスタンド2階正面入口、第2コーナー外側、招集所の3カ所、競技結果は、メインスタンド2階正面入口、第2コーナー外側の2カ所に掲示する。なお、場内スクリーンに競技結果が確定表示された時点を、正式発表とする。
- スタンド及び競技場周辺の使用した場所は、責任を持って清掃し、ゴミ等は責任を持って持ち帰ること。駅・競技場周辺のゴミ箱等に放置しないこと。
- 携帯電話等、情報機器の競技エリアへの持ち込みは禁止する。（招集所でチェックを受けること）
- 貴重品・荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。